

## Interview #2



Shiraishi Kensuke

### 白石 健祐

福岡県出身 / 水戸第一木高等学校卒

出身大学（学部）： 京都大学（総合人間学部）

#### — 白石さんは、京都大学からの編入ですね。京都大学を目指したきっかけは何ですか？

1番最初にあったのは、母が京都の大学に行っておりまして。話を聞いていて、単純に、京都面白そうだなって思っていました。それと、中学の時の修学旅行先が京都じゃなくて、中学の時点で目指していた高校には、そもそも修学旅行がなかったので、京都に行きたいなあ！ってのがありまして。

#### — 分野選択はいつでしたか？

分野は、もっと前ですね。もともと宇宙に興味を持ったのが小学1年生くらい。地球が、公転自転しているのは、なぜだろう？という疑問から興味が出て、小学3年生くらいの時には、宇宙飛行士になりたいって思っていたんですけど。いつの間にか、物理がやりたい、にすり替わっていました。中学の時には、京大で物理をやるっていうのは、決めていました。

#### — 以前は、どんな研究をしていましたか？

一般相対論を使って、近日点移動のことをやっていました。地球の公転軌道が、ずれる現象があるんです。ずれのほとんどは、他の惑星からの影響と分かっていたんですけど。43秒角/100年分だけ、理由が分かっていたのを、一般相対論で説明出来ました、みたいなことが1900年代前半にありまして。一般相対論の中に、その後追加された宇宙定数は、宇宙の今の加速膨張に関係する項になっているみたいなんですけど。その宇宙定数を、近日点移動で測ることは出来ないか？みたいなことをやっていました。

#### — RCNSでは、どんな研究をしていますか？

PMTのローインピーダンスに対する、実際の対策は、このセンターでも色々な方がやっていると思うんですけど、「そもそも何故起きるのか？」というのをやっています。

#### — 白石さんにとって、物理の魅力は？

ひとつのことを理解したと思っても、その先に、まだ別の謎が出てくるところ。例えば、地球上の力学は、基本的にニュートン力学で表されるじゃないですか。けれど、宇宙を調べてみれば、近日点移動みたいに、ニュートン力学だけじゃ説明出来ないこともあって、それを一般相対論で説明したわけなんですけど。その一般相対論でも、説明出来ないような事象が宇宙にはあるみたいで。それを解決するために、今、新しい有力理論が作られてきたり…。ニュートン力学が間違っているわけではなくて、あくまで、1部に適用されるものなので、狭い範囲でこれだ、と言ったとしても、実は、もっと広い世界で見れば、もっと、それらを内包した大きな物理がある、というのが面白いです。

#### — 研究室での研究スケジュールは、どのような感じでしょうか？

昼頃に来て、19時～21時頃に帰ることが多いです。朝が基本的に、ものすごく苦手で午前中はいないです…。電気が点いた状態で寝れば、起きられるんですけど。そうすると、体が疲れるので、寝たか微妙な状態に…。スライド作りとかは、結構家でやることが多いです。

## — ニュートリノセンターに入って良かったことは？

元気で、賑やかで、同期が優しいことです。

あれ?!小学生みたい…もうちょっと良い感じの言葉で言えたら良いんですけど。



## — 大学院進学を検討している後輩に、一言お願いします。

研究内容が面白そうであれば、学部と院で違うことをやるのも一つの手ではあると思うので。視野を広く持ってみてはいかがでしょう。僕も、理論から実験に移りました。それでも、環境は全く違いますけれど、満足していますし、楽しいので、見立ては間違っていなかったです。

## — 白石さんの趣味を教えてください。

ゲームが好きですね。キューブを引っ張り出したり、アドバンスやカラーとか…。3DS で昔のゲームが出来る VC という商品があるんですけど。そういうのをやってみたり、中古屋で昔のゲームを買ったりしていますね。あとは、寺社仏閣、仏像巡りなんですけど。仙台の周辺で面白いところを探しているところです。一人旅も好きで、仙台に来たからは、する機会がないんですけど……。学部の時、瀬戸内一

周旅行と称しまして、京都から夜行で福岡の小倉まで行って、そこから下関、広島、尾道、瀬戸内しまなみ海道で四国に渡って、松山、香川に行って、高松から岡山、京都に戻る、というのを3泊4日で。もちろん疲労は、やばいです(笑)。



道中の尾道で出会った猫です。

## — 次に行きたいところはどこですか？

秋頃に行きたいな、と思っているのは平泉。寺社仏閣巡りを兼ねてですね。緻密で計算され尽くした美しさがあるものが好きで、平泉まで行けば、個人的な好みのもが見られるんじゃないかと。あと、和歌山に行ってみたいのと、九州出身のくせに福岡以外に、ほとんど行ったことがないので、そっちの方にも、行ってみたいなあっていうのはあります。

## — 白石さんの息抜きの方法を教えてください。

料理です。もともと始めたのは、そっちの方が安上がりだから、なんですけど。なんか妙にハマりまして。お菓子作りにも手を出し始めまして。既製品の方が、安く上がるものの中にはあるわけですけど、たまに、手間とか原価をかけて、自分で最初から作って、ストレス発散してみたり。最近よく作るのは、焼きドーナツです。

## — 最近挑戦した料理は？

この間、リヨンという豚肉を使ったフランスの料理を作ってみて…。あくまで、もどきなんですけど。厳密には、ちょっと材料が違って、具体的に言えば、タイムとローズマリーを使うところを、タイムもローズマリーもなかったのでローリエを使うという(笑)。同じ葉っぱだし分かんないよね!って。

## — 生まれの九州の味も再現したりしますか。

もつ鍋とかは、たまに作ります。ただ、仙台の普通のスーパーでは、部位ごとに臓物系売ってないんですよ。もう一つ大問題なのが、もつ鍋の皿は基本ちゃんぽんなんですけど、ちゃんぽん麺が買えないです…。デパートで九州物産展をやっている時は、チャンポン麺が手に入るの、その時に作ることが多いです。

## — 行ってみたい国はどこですか？

イギリスです。大前提として、歴史的に面白い国が良い、というのがありまして。歴史が、とにかく好きなんです。学部の副専攻で、歴史を取ったくらい。イギリスの歴史を、ちょっとだけやりまして、個人的に“ばら戦争”が好みで。直接、火花を散らせるんじゃなくて、あらゆる手段を用いて、謀略を巡らせて…。そういうのが好き。あくまで個人的な主張ですけど、“ばら戦争”ってイギリス近代化の、きっかけになっている戦争だと思っていて。いわゆる、絶対王政に突入

していく上で、必要だった戦争だったと思っているので。そう考えると、イギリスに行けば、“ばら戦争”の痕跡を辿れるんじゃないかなと思って。

### — 好きな本はなんですか？

【動物のお医者さん】これは、漫画ですね。親が持っていて、どハマりしまして。10周くらいして、どの話が、どの巻で、どういうオチか？とか、もう分かります。

あとは、小野不由美さんの小説で【残穢】。いわゆる実話怪談風の話でして、ささいな違和感とか、かなり概念的な怖さなんです、ホラーと違って。直接的な怖さじゃないのに、きちり人を怖いって思いにさせてくれる手法が凄くて、好きな本です。ホラーって怖くて当たり前なんですよ。だって、怖がらせるのが目的で作っているわけですから。どストレーターの怖いものを出さなくても、じわっと人を怖がらせることが出来るというのが、「残穢」の凄いところ。

### — 最後に、目標を教えてください。

当面の目標は、今やっている研究をしっかりと進めることです。